



## 2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社ダイブ 上場取引所 東  
コード番号 151A URL http://dive.design  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)庄子 潔  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)山本 拓嗣 (TEL)03(6311)9833  
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第3四半期の業績(2023年7月1日~2024年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	9,345	—	548	—	551	—	311	—
2023年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	129.44	114.32
2023年6月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2023年6月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第3四半期の数値及び2024年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2023年11月24日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 2024年3月27日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2024年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年6月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	4,539	1,886	41.5
2023年6月期	3,146	963	30.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 1,885百万円 2023年6月期 963百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,473	38.8	479	299.6	486	252.6	322	91.6	129.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期3Q	2,765,000株	2023年6月期	2,400,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年6月期3Q	—	2023年6月期	—
------------	---	----------	---

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期3Q	2,407,964株	2023年6月期3Q	—
------------	------------	------------	---

（注）1. 2023年11月24日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 2023年6月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響はほぼ解消し、訪日外国人旅行者等の増加傾向が続きました。これによる個人消費の増加、雇用及び所得環境は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復傾向が見られます。一方で、資源・エネルギー価格の高騰、不安定な世界情勢を背景とした景気後退懸念など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

観光業界におきましては、訪日外国人による宿泊等の体験型サービス消費が増加し、国内観光業におけるインバウンド需要の増加が見られました（出典：国土交通省 観光庁「訪日外国人消費動向調査」）。また、訪日外客数が2024年3月に単月として過去最高を更新するとともに、初の300万人を突破いたしました（出典：JNTO 日本政府観光局「訪日外客数（2024年3月推計値）」）。このような状況のもと、当社は国内観光業における人材需要の増加に対応するため、継続的な広告宣伝投資を行い求職者の確保に努めてまいりました。

以上の結果として、基幹事業である観光HR事業を中心に当社の業績は堅調に推移し、当第3四半期累計期間における売上高は9,345,352千円、営業利益は548,801千円、経常利益は551,818千円、四半期純利益は311,676千円となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

#### (観光HR事業)

当第3四半期累計期間においては、宿泊業等を中心としたインバウンド市場の活性化に伴い、当社取引先である宿泊施設等の人材需要が堅調に推移いたしました。

当第3四半期累計期間における取り組みとして、当社ホームページ（リゾートバイトダイブ）のリニューアルを行い、求職者の利便性向上を図りました。このような求職者確保のための広告宣伝投資に加え、来期の求職者の確保を目的とした大型広告宣伝投資の準備を進めてまいりました。これにより、2023年7月から2024年3月における就業者数は8,306名（前年同期比28.2%増）となりました。

以上の結果として、当セグメントの売上高は8,922,150千円となり、セグメント利益（営業利益）は763,524千円となりました。

#### (地方創生事業)

当第3四半期累計期間においては、2024年3月1日に香川県東かがわ市に滞在型アウトドアホテルである「クラフトホテル瀬戸内」を新規開業いたしました。また、既存のグランピング施設においては、本格シーズン到来に向け積極的な設備投資を行い、集客強化及びアクティビティコンテンツや施設インフラの拡充等を進めてまいりました。

以上の結果として、当セグメントの売上高は356,811千円となり、セグメント損失（営業損失）は194,222千円となりました。

#### (情報システム事業)

当第3四半期累計期間においては、未経験エンジニアの育成や、年度末需要及び大型案件獲得等の営業活動に努めました。現在、未経験エンジニアの育成強化を行うことで収益力向上を図っております。

以上の結果として、当セグメントの売上高は66,390千円となり、セグメント損失（営業損失）は20,500千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ847,367千円増加し、3,589,274千円となりました。これは主に、売上高の増加に伴い売掛金が444,068千円、公募増資等により現金及び預金が402,179千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べ545,836千円増加し、949,975千円となりました。これは主に、地方創生事業における宿泊施設の新規開業に向けた設備投資の実施等に伴い有形固定資産が431,760千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,539,249千円となり、前事業年度末に比べ1,393,203千円増加しました。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ417,192千円増加し、2,211,283千円となりました。これは主に、観光HR事業における就業者の増加に伴い、未払金が252,552千円、課税所得の増加に伴い未払法人税等が185,284千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べ53,178千円増加し、441,298千円となりました。これは主に、グランピング施設の拡充に伴う資産除去債務が27,952千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,652,581千円となり、前事業年度末に比べ470,370千円増加しました。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ922,832千円増加し、1,886,668千円となりました。これは、公募増資により資本金及び資本剰余金が611,156千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が311,676千円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2024年3月27日に公表した数値から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,777,687	2,179,866
売掛金	928,784	1,372,853
その他	45,608	45,682
貸倒引当金	△10,173	△9,127
流動資産合計	2,741,906	3,589,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,715	405,277
土地	79,308	79,308
建設仮勘定	17,368	28,822
その他(純額)	31,775	135,521
有形固定資産合計	217,168	648,929
無形固定資産		
ソフトウェア	40,069	64,860
ソフトウェア仮勘定	34,368	107,217
その他	420	388
無形固定資産合計	74,857	172,466
投資その他の資産		
差入保証金	20,101	98,845
繰延税金資産	90,025	26,409
その他	1,985	3,324
投資その他の資産合計	112,112	128,579
固定資産合計	404,139	949,975
資産合計	3,146,045	4,539,249

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,388	14,657
1年内償還予定の社債	70,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	159,489	210,823
未払金	689,424	941,976
未払費用	230,804	133,996
未払法人税等	846	186,130
未払消費税等	423,354	374,265
資産除去債務	1,902	2,529
賞与引当金	85,000	52,587
その他	124,879	259,315
流動負債合計	1,794,090	2,211,283
固定負債		
長期借入金	368,007	393,233
資産除去債務	20,113	48,065
固定負債合計	388,120	441,298
負債合計	2,182,210	2,652,581
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	315,578
資本剰余金	—	305,578
利益剰余金	953,160	1,264,837
株主資本合計	963,160	1,885,993
新株予約権	674	674
純資産合計	963,835	1,886,668
負債純資産合計	3,146,045	4,539,249

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,345,352
売上原価	7,123,036
売上総利益	2,222,316
販売費及び一般管理費	1,673,514
営業利益	548,801
営業外収益	
受取利息	13
手数料収入	15,539
その他	805
営業外収益合計	16,358
営業外費用	
支払利息	4,489
社債利息	274
上場関連費用	8,089
その他	488
営業外費用合計	13,341
経常利益	551,818
特別損失	
固定資産除却損	7,419
特別損失合計	7,419
税引前四半期純利益	544,399
法人税、住民税及び事業税	169,106
法人税等調整額	63,615
法人税等合計	232,722
四半期純利益	311,676



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年3月27日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2024年3月26日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による365,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ305,578千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が315,578千円、資本剰余金305,578千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	観光HR事業	地方創生事業	情報システム事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	8,922,150	356,811	66,390	9,345,352
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,922,150	356,811	66,390	9,345,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	8,922,150	356,811	66,390	9,345,352
セグメント利益又は損失(△)	763,524	△194,222	△20,500	548,801

(注)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。